

ひょうたん通信

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925

2019/09/21 第07号

15号台風を教訓に災害対策の強化を

9月8日夜から9日未明にかけて関東地方を襲った台風15号は、千葉県を中心に、地域によって想定外の破壊力で住民の日常を混乱に陥れました。

葉山町では、9日午前2時過ぎに下山口、一色、掘内、長柄の4地区で停電が発生（最大時約4,600軒）、最も復旧が遅れた長柄地区で停電が解消したのは、31時間後の11日（水）の午前9時7分でした。

今回は、台風による強風が、私たちの認識を遙かに上回る、大地震並の被害と混乱を引き起こすということを教えてくれました。一方、マスメディアは、国や県の初動体制の遅れ・対応の鈍さ、東京電力の想定のおかしさなどを指摘しています。

これからは、地球温暖化で今回のような（または今回以上の）強い台風が頻度を高めて襲って来るでしょう。強大化する台風の破壊力に対する認識を、行政や東電はもちろん、私たちも改める必要があります。

台風は、毎年必ずやってきます。来年の台風シーズンまでに、国県・町は災害対策を早急に見直し、被害の予防・軽減に向けて、停電防止策や家屋の補強支援等の対策を講じる必要があると考えています。

今回は、情報が無くて困ったという声をたくさん

いただきました。行政には情報提供の大切さを再認識し、しっかり対応策を講じてもらわねばなりません。町の防災行政無線は、雨戸を閉め切った強風雨下ではほとんど情報提供の機能を果たせません。代わる方法手段を早急に講じることが必要です。

同時に、私たちも情報が必ずしも十分提供されるとは限らないことを前提に、自分の身や財産を守ることができるようにしておくことが必要だと痛感しました。

届かない物資も電波も
若者ら「少しでも力に」
停電今も、乳量は激減

1週間経っても…給水に人絶えず

千葉県酪農 台風後遺症、
千葉牛乳冷やせず廃棄・病気に
住民不安、被害把握に支障
28万戸停電通信障害も
千葉41市町村
災害救助法
5号

住宅被害2万戸超か
10日超に高波到達
横浜・金沢区、市「想定外」

台風外国人住民も困惑
不自由な会話・雨戸使い方分からず

停電続く漁村「もう限界」
千葉県立校超「みんな泣いた」
停電長期化 休校いつまで

県内観光地にも爪痕
続く停電 農家悲鳴

議会報告（第3回定例会）

9月11日に開かれた本会議で、平成30年度葉山町一般会計歳入歳出決算について総括質問を行い、そのなかで、町立小中学校のトイレ等施設整備の改善改修について質問しました。

町立小中学校のトイレの不備や校舎の傷みの問題は、10年以上前から改善・改修して欲しいという要望が学校側から出されていました。にもかかわらず、何故これまで放置されてきたのか。そのような状態を放置した町は許せないという思いから、トイレの改善や施設の傷みが放置された理由・原因・経過について、教育長、町長に質問しました。

その回答は、要するに、できるだけ対応はしてきましたという通り一遍の回答でした。

今後、町の歳入の減少が予測されるなか、どの事業を優先して行うかはさらに重要で難しい問題になります。

10月9日に予定されている一般質問で、事業選択にあたっての優先順位の基準は何か、実際の判断はどのように行っているのか、町民や現場の声にしっかり耳を傾ける姿勢に欠けるところはなかったか追求するつもりです。

“食料自給率37%の日本 私たちの食料は大丈夫？”

穀物価格最大23%上昇 —国連2050年予測—

この8月、食料に関する二つの記事が目にとまりました。

一つは、神奈川新聞の「温暖化で干ばつ、水不足も 穀物価格最大23%上昇 —国連2050年予測—」の記事。もう一つは、日本農業新聞の「食料自給率国は軽視？ 世論調査14年が最後」の記事。

前者の記事は、国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書を紹介したもの。地球温暖化は熱波、干ばつ、砂漠化、山火事の悪化や永久凍土の溶解などを引き起こし、食糧不足と飢餓のリスクが高まり、穀物価格が2050年に最大23%上がるというもの。

後者の記事は、2018年度の我が国の食料自給率が、カロリーベースで過去最低の37%に落ち込むなか、食料供給に対する国民の意識を尋ねる政府の世論調査が長く実施されていないことを指摘し、調査の必要性が薄いと国と、将来の食料

供給に不安を感じている国民の意識との隔たりを取り上げていました。

この二つの記事を読みながら、半世紀近く前、オイルショックの後でしたが、とある経済関係の講演会で「石油を海外に依存している我が国は、将来にわたって必要量を確保できるか？」と質問したことを思い出しました。そのときの答えは、石油を買うお金があれば大丈夫！というものでした。

地球の温暖化、不安定な世界情勢、かつての強さを失った日本の経済を考えたとき、将来にわたって必要な食糧を確保できる保証はないと思っています。農業に力を入れて自給率を高める道を選び、食料やエネルギーのために、稼いだ金を外国に垂れ流す経済構造を改めていかねばと思うのですが…。



おもな活動日誌

- 8月 16日(金) 中学生高校生議会の傍聴
- 8月 22日(木) 三浦半島地域連合政策制度意見交換会
- 8月 30日(金) 議会運営委員会、議案説明会
- 9月 1日(日) 第4回葉桜まちづくり委員会
- 9月 5日(木) 第3回定例会本会議(1日目)
議会広報常任委員会
- 9月 11日(水) 第3回定例会本会議(2日目)
- 9月 13日(金) 決算特別委員会(~25日)



中村かずお プロフィール

葉山町議会議員 1942年生まれ 横浜国大経卒
元 横浜市理事・横浜市福祉サービス協会専務理事 元 葉山町町内会連合会長・葉桜自治会長
現 社会福祉法人であいの会理事長・葉桜自治会会計担当

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925
Email：170202kn@ozzio.jp URL：https://www.nakamurakazuo.com/

